

## 1-8 作図環境を設定する

図面の用紙サイズと縮尺の設定を行った後は、次にレイヤの設定や寸法線の設定など、各種の作図環境の設定を行います。

図脳 RAPIDPRO を起動したときや、新規に図面を作成したときにも設定した内容を引き続き使用したい場合は、「初期値登録」が必要になります。

### 線種・幅・色の設定を行う

例題：[Lesson2.zsdx]-Q1

図脳 RAPIDPRO では、線種・幅・色を表現する方法として、次の2通りの方法があります。

A：図形ごとに持っている属性（線種・幅・色）で表示する ---[図形〇〇]

B：レイヤごとに設定している属性（線種・幅・色）で表示する ---[レイヤ〇〇]


Q1 の図形の属性は、次のようになっています。

	色	幅	線種
1 本目の線 (レイヤ8)	図形の属性：黒色 ■ レイヤの属性：水色 ■	図形の属性：極細 ・ レイヤの属性：細線 ・	図形の属性：実線 ———— レイヤの属性：点線 ······
2 本目の線 (レイヤ9)	図形の属性：黒色 ■ レイヤの属性：黄色 ■	図形の属性：極細 ・ レイヤの属性：中線 ●	図形の属性：実線 ———— レイヤの属性：破線 - - - -
3 本目の線 (レイヤ10)	図形の属性：黒色 ■ レイヤの属性：緑色 ■	図形の属性：極細 ・ レイヤの属性：太線 ●	図形の属性：実線 ———— レイヤの属性：一点短鎖線 - · - · - ·


上記の表では「図形が持っている図形の属性」と、「その図形が作図されているレイヤの属性」が異なります。このような場合に、[図形〇〇]に設定した場合と、[レイヤ〇〇]に設定した場合とで、設定を切り替えると線種・幅・色が変わることを確認します。

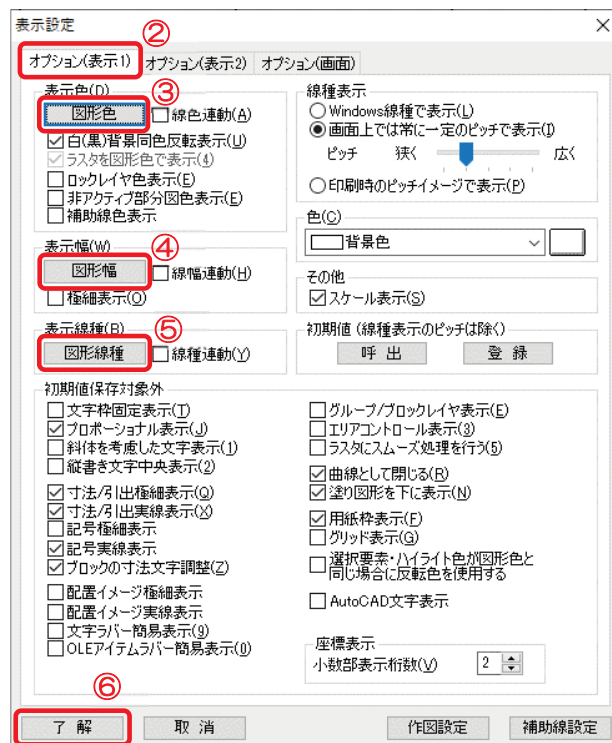
※[図形〇〇]と[レイヤ〇〇]の設定は、作図を始める前にどちらの方法で作図するかを決める必要があります。作図途中でこの設定を変えることはできますが、「図形が持っている図形の属性」と、「その図形が作図されているレイヤの属性」が異なる場合には、線種・幅・色が変わってしまいます。したがって、最初にどちらの方法で作図するかを決めて作図を始めた後は、この設定を変えることは基本的にはありません。

※AutoCAD では、レイヤごとに設定している色で作図している中で、任意の図形の色を個別に変更するなど両者を混在して作図することもできますが、図脳 RAPIDPRO はいずれか一方のみの方法で作図します。

[表示設定]コマンド  で設定を行います。

[図形色] [図形幅] [図形線種] に設定します。

- ① [表示]-[表示設定]コマンド  をクリック
- ② **メッセージ** 「必要な項目を設定してください。」  
[オプション (表示 1)] タブをクリック
- ③ [表示色] 欄のボタンを押して [図形色] に切り替える
- ④ [表示幅] 欄のボタンが [図形幅] になっていることを確認
- ⑤ [表示線種] 欄のボタンが [図形線種] になっていることを確認
- ⑥ [了解] ボタンを押す



[図形色] [図形幅] [図形線種] に設定すると、  
「図形の属性」の線種・幅・色で表示されます。

Q1. 線種・幅・色の設定を確認してください

確認が完了したら、  
[図形線種] [図形幅] [レイヤ色]  
に設定してください。

---

---


---

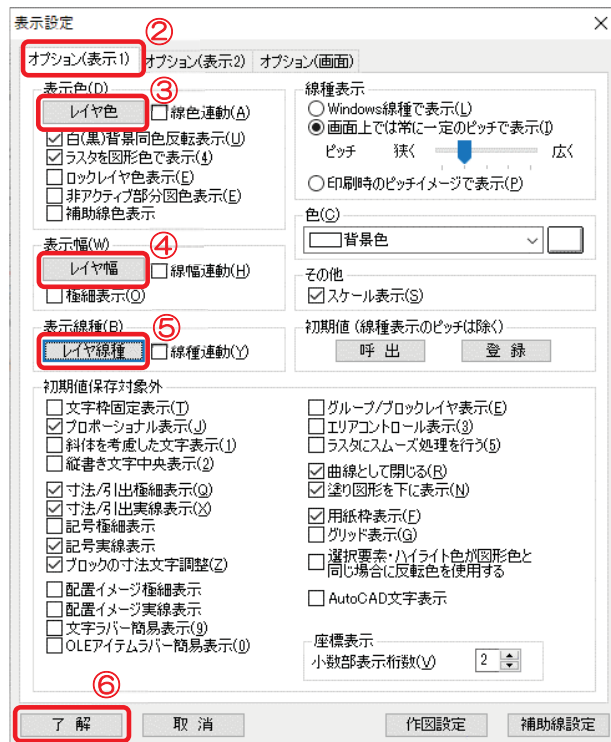
[図形色] [図形幅] [図形線種] に設定した場合は、  
[作図切替] ツールバーで線種・幅・色を選択して作図します。

1つのレイヤの中で複数の線種・幅・色を使用できます。

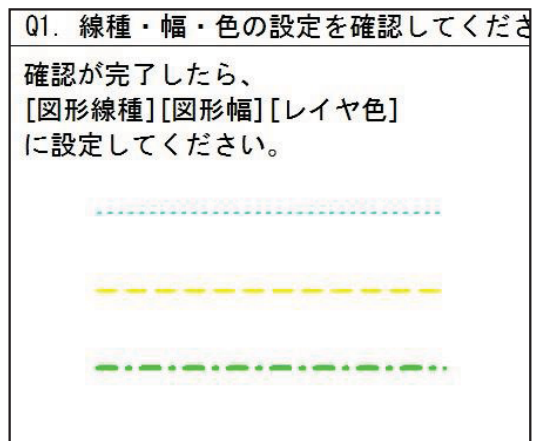





[レイヤ色][レイヤ幅][レイヤ線種]に設定を切り替えます。

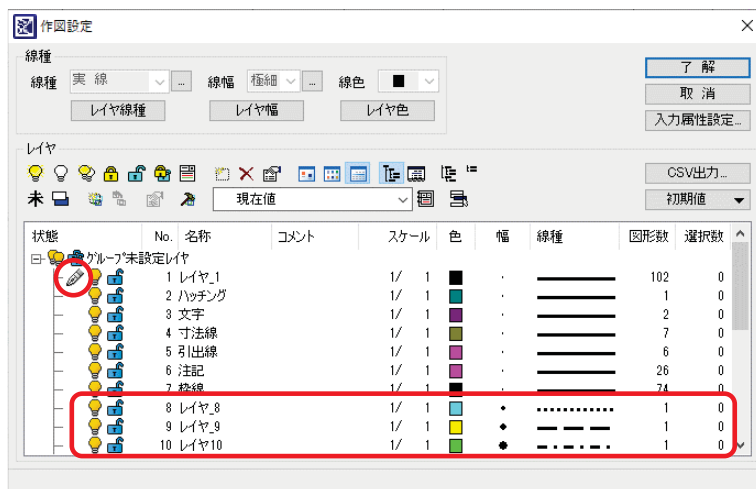
- ① [表示]-[表示設定]コマンドをクリック
- ② **メッセージ** 「必要な項目を設定してください。」  
[オプション (表示 1)]タブをクリック
- ③ [表示色]欄のボタンを押して[レイヤ色]に切り替える
- ④ [表示幅]欄のボタンを押して[レイヤ幅]に切り替える
- ⑤ [表示線種]欄のボタンを押して[レイヤ線種]に切り替える
- ⑥ [了解]ボタンを押す



[レイヤ色][レイヤ幅][レイヤ線種]に設定すると、「レイヤの属性」の線種・幅・色で表示されます。





[レイヤ色][レイヤ幅][レイヤ線種]に設定した場合は、多機能ビューの[作図レイヤ]タブ、または[設定]-[作図設定]コマンドでレイヤごとに線種・幅・色を設定し、作図レイヤを変更しながら作図します。レイヤごとに線種・幅・色を設定するので、1つのレイヤの中で複数の線種・幅・色を使用することはできません。

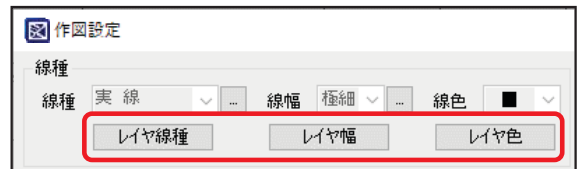


[作図設定]コマンドでも[図形○○][レイヤ○○]の設定を行うことができます。

① [設定]-[作図設定]コマンドをクリック

② **メッセージ** 「必要な項目を設定してください。」  
[線種]欄のボタンを確認

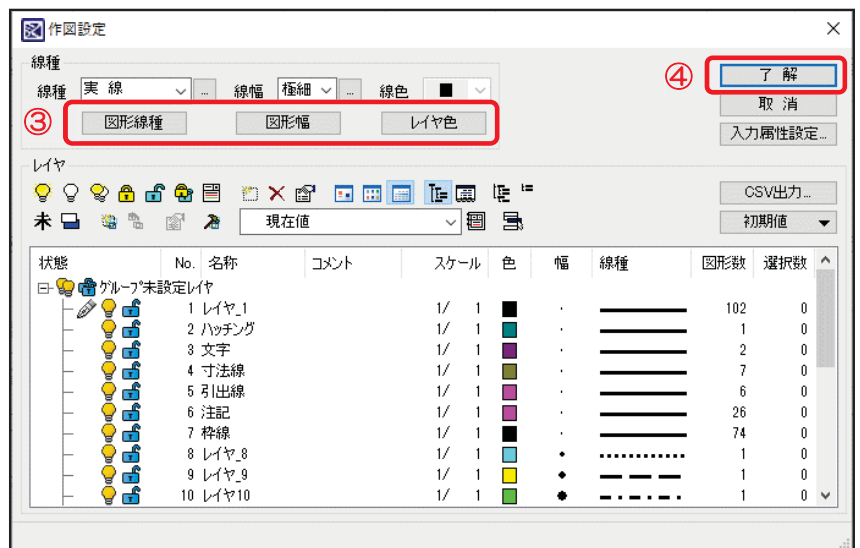
[線種]欄に[表示設定]コマンドと同じボタンがあります。  
ボタンを押すたびに、[表示設定]コマンド同様、  
[図形○○][レイヤ○○]に切り替わります。



本トレーニングでは、線種および幅については、1つのレイヤの中で色々な線種・幅を使用したいので、  
[図形線種][図形幅]に設定します。色については、異なるレイヤで作図されていることが分かりやすいた  
いので、[レイヤ色]に設定します。

③ [線種]欄のボタンを押して、  
[図形線種][図形幅][レイヤ色]  
に切り替える

④ [了解]ボタンを押す




## レイヤの設定を行う

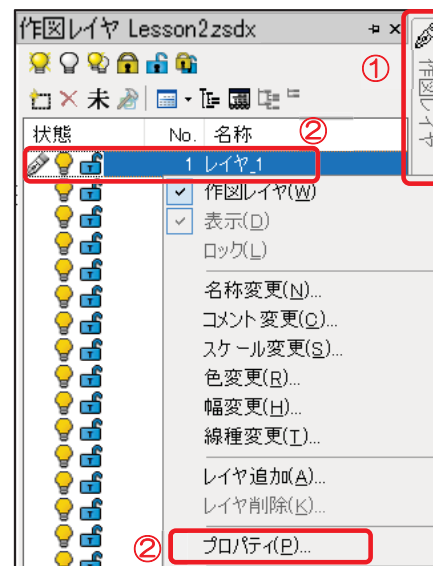
初期の設定では、レイヤの名称は「レイヤ\_1」「レイヤ\_2」のようになっていますが、わかりやすい名称に変更することができます。また、21個のレイヤが用意されていますが、不要なレイヤは削除してレイヤを整理することができます。逆に、さらにレイヤが必要な場合はレイヤを増やすこともできます。

作図編集に編集したくないレイヤがある場合はそのレイヤを編集不可に設定したり、印刷したくないレイヤがある場合は非表示にしたりできます。作図するときには、作図レイヤを指定してから作図を始めます。

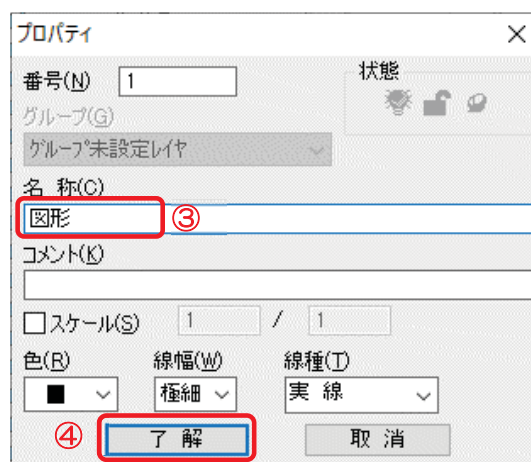
レイヤの設定は、多機能ビューの[作図レイヤ]タブ、または[設定]-[作図設定]コマンドで行います。操作手順はどちらも同じです。

### レイヤの名称を変更する

- ① 多機能ビューの[作図レイヤ]タブをクリック
- ② [レイヤ\_1]を右クリックして[プロパティ]をクリック  
または、[レイヤ\_1]をダブルクリック





- ③ [名称]に 図形 と入力
- ④ [了解]ボタンを押す

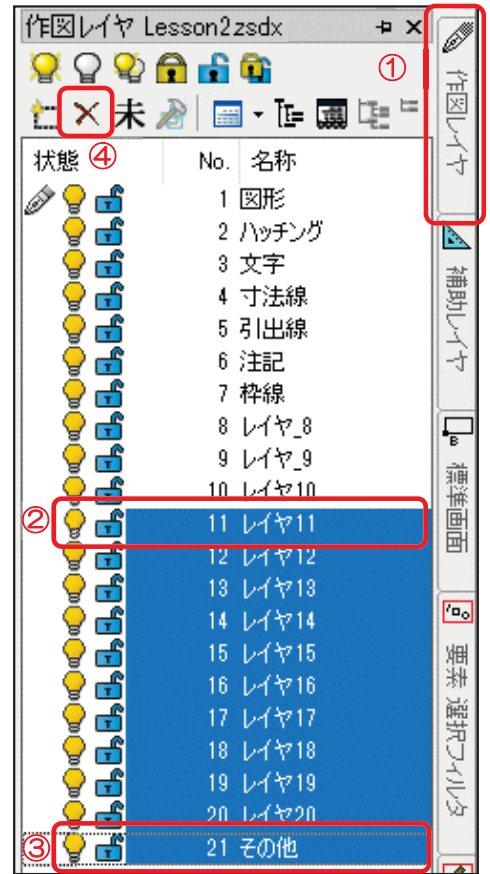


レイヤの名称を変更できました。

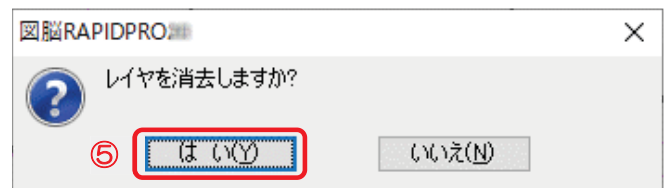



## 不要なレイヤを削除する


- ① 多機能ビューの[作図レイヤ]タブをクリック
  - ② [レイヤ11]をクリック
  - ③ キーボードの[Shift]キーを押しながら[その他] (レイヤ21) をクリック
- ※ [Shift]キーを押すと範囲選択、[Ctrl]キーを押すと複数選択になります。
- ④ [レイヤ削除]アイコンをクリック  
または、右クリックして[レイヤ削除]をクリック

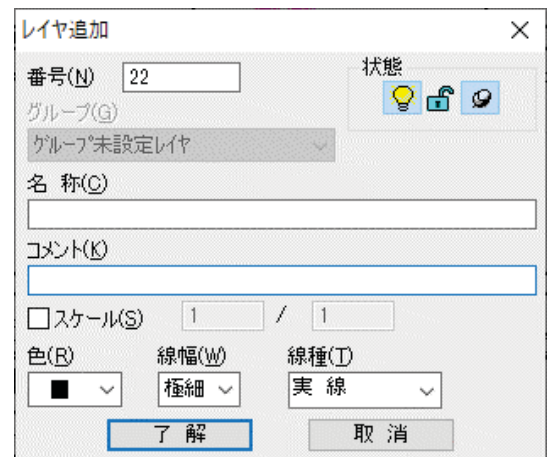


- ⑤ [はい]ボタンを押す



※手順②で[未使用レイヤー一括選択]アイコンをクリックすると、[レイヤ11]から[レイヤ21]は使用されていないレイヤなので、一括して選択できます。

逆に、さらにレイヤが必要な場合は、[レイヤ追加]アイコンをクリックすると[レイヤ追加]ダイアログボックスが表示され、レイヤを追加することができます。




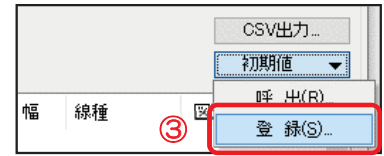
※レイヤの設定は図面ごとに記憶されます。



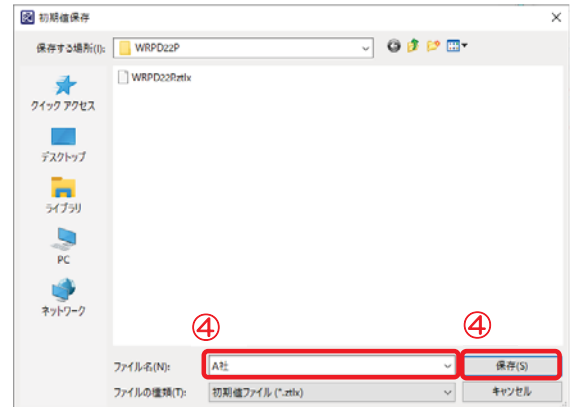
## レイヤの設定を他の図面にコピーするには

現在作図編集している図面のレイヤの設定を他の図面にコピーしたい場合は、ファイル名を付けて「初期値登録」し、設定をコピーする図面でそのファイルを「呼出」します。


- ① [設定]-[作図設定]コマンドをクリック
- ② **メッセージ** 「必要な項目を設定してください。」  
レイヤの設定を行う
- ③ [レイヤ]欄の[初期値▼]ボタンを押して[登録]をクリック
- ④ **メッセージ** 「ファイル名を指定してください。」  
[ファイル名]に任意のファイル名を入力して  
[保存]ボタンを押す

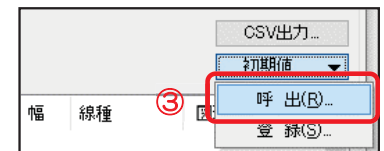


「初期値登録」が完了します。  
[了解]ボタンを押して[作図設定]ダイアログボックスを閉じます。

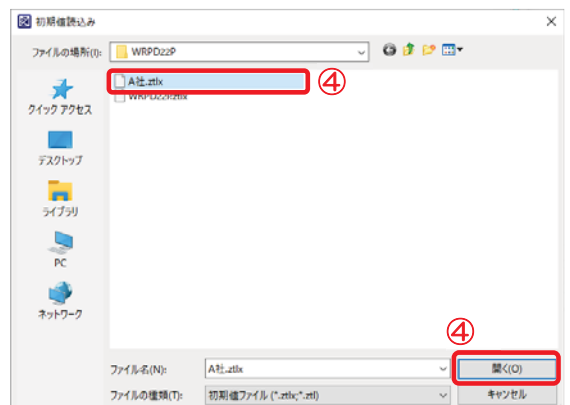


ファイル名を付けて「初期値登録」したレイヤの設定を他の図面にコピーするには、コピーする図面を開いて設定を「呼出」します。




- ① レイヤの設定をコピーする図面を開く
- ② [設定]-[作図設定]コマンドをクリック
- ③ **メッセージ** 「必要な項目を設定してください。」  
[レイヤ]欄の[初期値▼]ボタンを押して[呼出]をクリック
- ④ **メッセージ** 「ファイル名を指定してください。」  
任意のファイル名で保存した初期値 (\*ztlx) を  
選択して[開く]ボタンを押す







レイヤの設定が「呼出」されます。  
[了解]ボタンを押して[作図設定]ダイアログ  
ボックスを閉じます。

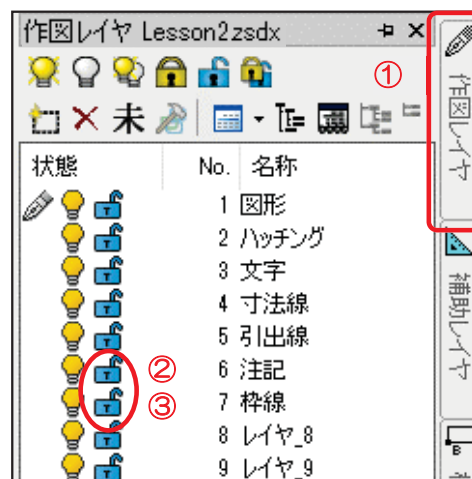



## レイヤを編集可(編集ロック解除)/編集不可(編集ロック)に設定する

- ① 多機能ビューの[作図レイヤ]タブをクリック
- ② [注記]レイヤの青色鍵マークをクリック
- ③ [枠線]レイヤの青色鍵マークをクリック


青色鍵マークから黄色鍵マークに変わります。  
[注記]レイヤ、[枠線]レイヤの中に作図された図形が編集できなくなります。



鍵マークをクリックすることで、レイヤの編集可/編集不可の切り替えができます。






作図レイヤ (ペンマークが付いているレイヤ) は「これから作図するレイヤ」なので、編集不可に設定することはできません。

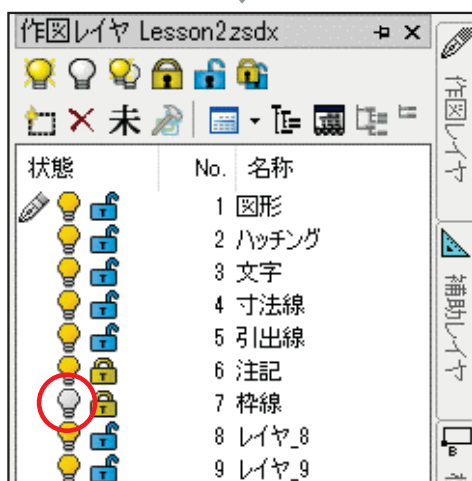
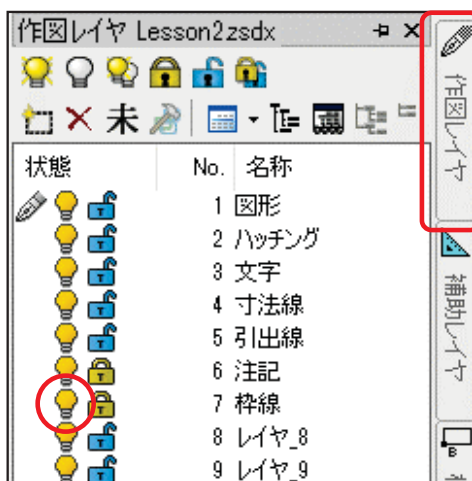
## レイヤを表示/非表示に設定する

多機能ビューの[作図レイヤ]タブをクリックします。

任意のレイヤの黄色電球マークをクリックすると、白色電球マークに変わります。該当のレイヤの中に作図された図形が非表示になります。


電球マークをクリックすることで、レイヤの表示/非表示の切り替えができます。非表示にしたレイヤは印刷されません。


作図レイヤ (ペンマークが付いているレイヤ) は「これから作図するレイヤ」なので、非表示に設定することはできません。

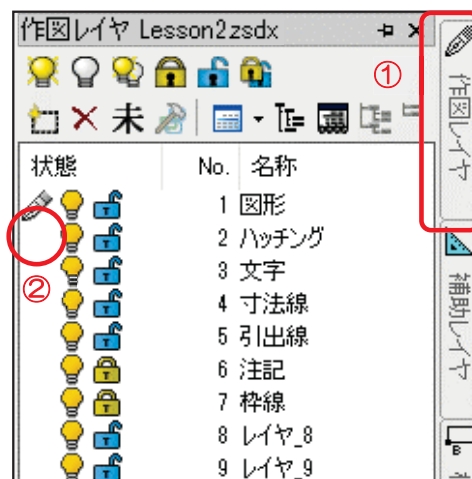




## 作図レイヤを変更する

- ① 多機能ビューの[作図レイヤ]タブをクリック
- ② ○印付近をクリック

作図レイヤを表わすペンマークが[ハッチング]レイヤに移動します。これから作図する図形は[ハッチング]レイヤに作図されます。



作図レイヤを[図形]レイヤに戻します。

- ③ ○印付近をクリック

作図レイヤを表わすペンマークが[図形]レイヤに移動します。これから作図する図形は[図形]レイヤに作図されます。

[作図切替]ツールバーで作図レイヤを変更することもできます。

